

第84回山陽新聞賞贈呈式

研さん積み社会貢献



松山さんら6人2団体

第84回山陽新聞賞の贈呈式が8日、岡山市北区駅元

各2人、産業功労1人と山

た。

(5面に特集)

受賞者と来賓の伊原木隆

山であり、文化、社会功劳

人1団体と社会部門1団体の計6人2団体を表彰し

太岡山県知事、大森雅夫岡

市長、中村正芳県教育長、

受賞者を代表し、社会功

も

た。

の伊原木知事は「皆さまが

いろいろな分野で頑張る

こと

で地域が元気になって

いる。今後ますますのご活

躍を祈念します」と祝福し

た。

受賞者を代表し、社会功

も

た。

第84回山陽新聞賞の贈呈式で桑原社長から賞状などを贈られる受賞者

「支えてもうった皆さんのおかげで今の私がある。受賞機会に、もうひと頑張りしたい」と謝辞述べた。

那須保友岡山大学長、松田久県商工会議所連合会長、大原謙一郎大原美術館名誉館長、黒住宗晴黒住教名譽教主、神崎晋旭川庄理事長が出席した。

山陽新聞社の桑原功社長

が一人一人に賞状と日本芸術院会員蛭田二郎氏制作のメダル、賞金(山陽新聞賞50万円、奨励賞30万円)の目録を贈り「皆さまはそれぞれの分野で長年にわたりて研さんを積まれ、たゆまぬ努力によって社会に貢献されてきた。これまでのご精進に敬意を表します。次の時代を担う後進の育成にも力を発揮していただきたい」とあいさつ。来賓代表の伊原木知事は「皆さまがいろいろな分野で頑張ることで地域が元気になっていく」と祝

他の受賞者は次の皆さん。(敬称略)

他の受賞者は次の皆さん。

(敬称略)

【文化功労】書家中池竺

舟(80)・本名・克直、岡山市南区あけぼの町▼彫刻

名家、画家武藤順九(75)・本

舟(80)・本名・克直、岡山市南区あけぼの町▼彫刻

舟(80)・本名・克直、岡山市南区あけぼの町▼彫刻



第84回 山陽新聞賞贈呈式



社会功労

県民助ける組織に誇り

岡山県医師会長

松山 正春さん(82) 岡山市中区原尾島

東日本大震災の被災地支援のため、岡山県医師会は災害医療チーム「J-MATおかやま」を初編成しました。その時に多くの会員さんが手を挙げてくれ、県医師会はすごいボテンシャルを持つていると感じました。会長になり、県民にもっと組織を知つてもらおうと始めたのが移動会長室です。地域や学校に出向いて話をしています。とても楽しい時間を過ごさせてもらつていて、開催は130回を超みました。

県医師会は私の誇りです。これからも何かあつた時には必ず県民の支え、助けるになる組織であり続けると思います。

会長になり、県民にもっと組織を知つてもらおうと始めたのが移動会長室です。地域や学校に出向いて話をしています。とても楽しい時間を過ごさせてもらつていて、開催は130回を超みました。

県医師会は私の誇りです。これからも何かあつた

時には必ず県民の支え、助

けるになる組織であり続ける

と思います。

健全な労使関係構築を

岡山県経営者協会会長

野崎 泰彦さん(71) 岡山市中区門田屋敷

産業功労



江戸時代から続く家業の製塩業を受け継いできました。社長に就いた1991年当時は塩専売制度の終焉が意識される時期にあり、決して恵まれた事業環境ばかりではありませんでしたが、多くの人に支えられ、今まで歩んでくることができました。

自分の仕事を専念した若い頃から一転、2017年には岡山県経営者協会会長という立場を預かりました。日本経済はいま、デフレからインフレ局面への転換期にあります。会員企業でも高い水準の賃上げが進む中、微力ながら健全な労使関係の構築に力を尽くす所存です。

第84回山陽新聞賞・奨励賞



豊かな書 未来につなぐ

書家

中池 竹舟さん(80)=本名・克直=

岡山市南区あけぼの町
山下竹舟先生に師事して60
歳余。流麗なかなと力強い書
風を踏まえつつ、より力感
ある自分らしい書を目指し
ました。岡山県書道連盟の先生方
はじめ多くの方に導いて
いただき、ここまで来られ
ました。私も県内の高校
や大学での指導などを通
じて岡山の豊かな書の土
壤を未来につなぐことに
力を注いできましたが、ま
だ未熟です。もっと
頑張れ」と励ましの賞をい
ただいたと考え、今後も精
進したいと思います。

文化功労



世界に日本の価値発信

彫刻家、画家

武藤 順九さん(75)=本名・順一=

津市昭和町

東京芸術大を卒業後、50
年以上もつたてでイタリア
をはじめとする海外で暮ら
し、日本人として世界に何
を発信すべきかをおのずと
意識するようになります
た。戦後、日本は西洋の後を
追うばかりで、自國の文化
をおろそかにしてしま
た。世界が混沌する今こそ、
伝統文化や生活の知恵を取
り戻し、独自の個性を輝か
せる時です。この地から
世界に向かって、日本の価値を
発信していくたいと思想ま
す。私が「最後の地」として
運んだ津市は、「よくぞ守
り抜いてくれた」と感嘆す
るほどに古来の精神性が息
づく土地です。この地から
世界に向かうとき、日本の価値を
発信していくたいと思想ま
す。

文化功労



法医学生きる人へ活用

岡山大学術研究院医歯薬学域教授

宮石 智さん(65) 岡山市北区伊福町

検査機関の依頼で遺体の
死因を究明する司法解剖
などを行う法医学の医師
は、黒子です。舞台にはい
ない黒子を「いる」と認
め、評価いただいたこと
が大変ありがとうございました。
この道を目指す人たちの
亡くなった人のメッセージ
を生きる人にいかして
いくのが法医学だという思
いで職務に向き合っていま
した。「社会の要請は断ら
ない」と心に決め、年間約
200件の解剖に当たって
います。3月末で岡山大を
定年退職しますが、今後も
社会に奉仕できようと後
進の支援に励んでいきま
す。

社会功労



県民助ける組織に誇り

岡山県医師会会長

松山 正春さん(82) 岡山市中区原尾島

東日本大震災の被災地支援のため、岡山県医師会は「おかやま」を初編成しました。その時に多くの会員さんが手を挙げてくれ、県医師会はすごいボテンシャルを持ついると感じました。会員になり、県民にもっと組織を知つてもうおうと始めたのが移動会長室です。地域や学校に出向いて話をしています。とても楽しい時間を過ごさせてもらつていて、開催は130回を超ました。県医師会は私の誇りです。これからも何かあった時は必ず県民の支え、助けてもらえる組織であり続けると思います。



岡山の風土を詠みたい

歌人

大森 静佳さん(36) 京都市(岡山市出身)

短歌を作り始めた高校時代、山陽瓈に投稿したので、時を経て今回賞をいたしました。これがとても感慨深かったです。私は歴史が好きなので、今は岡山の歴史や風土も自分なりに詠み込んでいきたいです。



奨励賞 文化部門



歴史を継承する契機に

山中一揆義民顕彰会 真庭市禾津

会長 浜子尊行さん(75)

江戸時代に作州地域で起きた農民一揆・山中一揆の勃発から300年を迎えたこの節目を次世代に歴史を継承する契機としたいたことを残すことができました。私は歴史が好きなので、今は岡山の歴史や風土も短歌は五七七七のリズムの中で、見たものを感じることを残すことができました。私は歴史が好きなので、今は岡山の歴史や風土も自分で、より若い世代に伝えたいです。

奨励賞 社会部門



健全な労使関係構築を

岡山県経営者協会会長

野崎 泰彦さん(71) 岡山市中区門田屋敷

江戸時代から続く家業製塩業を受け継いできました。社長に就いた1991年当時は塩専売制度の終焉が意識される時期にあり、決して恵まれた環境ばかりではありませんでしたが、多くの人に支えられ、今まで歩んでもくることができました。自分の仕事を専念した1年から一転、2017年には岡山県経営者協会会長という立場を預かりました。日本経済はいま、デフレかオンライン面への転換度合いが高まり、決して恵まれた環境ばかりではありませんでした。自分自身で、多くの方に支えられ、今まで歩んでもくることができました。

奨励賞 文化部門



琴の产地の文化支える

福山文化連盟邦楽部 福山市霞町

副部長 村本歌弘さん(71)=本名・弘美=

福山市内の琴、尺八、グルタニアの筝曲家・宮城道雄の名を冠した演奏会や最大のイベント「福山ばら祭」などで年間を通して活動しています。邦楽好きな同士で楽しみつつも、良い音を奏でようと自然と研さんしています。地道な努力を評価しています。ただ、われわれが拠点とする福山は日本一大の琴の産地。伝統ある地の文化を支える立場であると改めて認識しこれからも活動にまい進します。